

# 室蘭

MURORAN

エイズ予防財団HIV医療講習会(兼)  
北海道HIV歯科医療研修セミナーin室蘭  
日時:平成28年2月20日 14:00~  
場所:社会医療法人母恋 日鋼記念病院  
主催:エイズ予防財団、北海道、北海道歯科医師会、  
北海道HIV/AIDS歯科医療連絡協議会  
講演「本講習会について」  
北海道大学大学院歯学研究所  
口腔診断内科学教室 教授 北川義政先生  
基調講演「AIDSやB型肝炎・C型肝炎の基礎知識と最近の話題」  
社会医療法人 製鉄記念室蘭病院  
血液腫瘍内科科長 黒田裕行先生  
講演「北海道HIV歯科医療ネットワーク構築事業について」  
医療法人回生会 大西博樹先生  
歯科口腔外科部長 鳥谷部純行先生  
北海道大学大学院歯学研究所  
口腔診断内科学教室 講師 佐藤 淳先生  
講演「当科における感染対策の現状」  
社会医療法人 日鋼記念病院口腔外科  
歯科衛生士 小関加奈先生  
ラッピング実習「明日から出来る歯科用器具のラッピング」  
旭川医科大学 歯科口腔外科講座  
准教授 竹川雅範先生  
旭川医科大学病院 歯科口腔外科  
歯科衛生士 藤倉弓子先生



歯科診療における消毒のあり方、感染の可能性等がマスコミを賑わすこともあり国民の歯科への目が厳しくなっている現在において、HIVを中心とした上記セミナーが医師、歯科医師、衛生士、歯科助手、総勢68名の参加を得て開催された。



セミナーでは実際にあったHIVによる診療拒否の話題から始まり、HIVの基礎知識から最新の治療法より死に至る病ではなく、慢性疾患となり予後がかなり改善されたこと、B肝・C肝の最新の治療法、医療現場での感染リスクと対策についての講義がなされた。

ついで北海道におけるHIV/AIDS医療の現状と患者数の推移が説明され、その治療にあたるための「北海道HIV歯科医療ネットワーク」の説明と参加の呼びかけが行われた。

休憩をはさみ、日本歯科医学会監修の院内感染対策に基づき、実際に日鋼記念病院口腔外科で行われた感染対策の取り組みについて説明が行われた。パー、ハンドピースから印象用トレー、エプロン、ゴーグルにいたるまでそれぞれ個別の器材に対する感染対策の現状・問題点・改善策に分けて、解決方法を明示した。

最後にラッピング実習となり実際のユニットを使用して、安価かつ短時間で可能なラッピング方法を実習した。特にビニール袋とシーラーを使用したタービン等へのラッピングはその安易さ手軽さで特に参加者の関心を得ていた。

日常の歯科診療の根幹となる感染対策に重きを置いたセミナーであり、日々の歯科医療での感染対策を見つめ直し、より安全に治療を遂行するための契機となる有意義な時間であったと感じた。

(宮武志司記)

お口の大学院 ハッピーマウス健口講座 第2週目  
日時:平成28年3月2日 13:30~  
場所:室蘭歯科医師会館  
主催:(一社)北海道歯科医師会、公益財団法人北海道健康づくり財団



ハッピーマウス健口講座 第2週目、1講目は室蘭を拠点とするコミュニティFMラジオ局、FMびゅーの代表取締役社長沼田勇也氏による「ラジオ放送は口から耳へ」をテーマにした講演が行われた。CFMならではの地域に密着した放送、災害や非常時におけるCFMの放送の重要性、少人数でのラジオ番組制作の苦労話、60名のボランティアスタッフに支えられていることやパーソナリティーの仕事、正しい発音、発声、またそのトレーニングなどを講演された。室蘭会は、6月の歯の衛生週間イベント会場からの生放送やCM放送による広報活動などで口腔衛生啓発活動に貢献してもらっている。



2講目、大人のための歯磨き法「あなたの歯磨き本当にきれいになっている?」をテーマとして、北海道歯科衛生士会室蘭支部の柿山明美氏が講演された。まず、受講者に自分自身の口腔内の汚れの溜まりやすい場所や磨き残しやすいところを分りやすく伝えられた後、3人の歯科衛生士を加えて受講者に染出しによるTBIを行った。受講者は渡された歯ブラシと手鏡で熱心にブラッシングを行った。

(森勝彦記)

お口の大学院 ハッピーマウス健口講座 第3週目  
日時:平成28年3月9日 13:30~  
場所:室蘭歯科医師会館

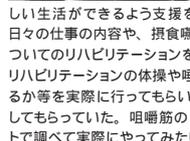
主催:(一社)北海道歯科医師会、公益財団法人北海道健康づくり財団



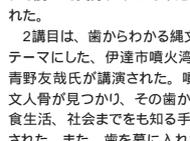
ハッピーマウス健口講座第3週目、1講目は、言語療法と歯科領域の関連性をテーマに、日鋼記念病院言語聴覚士 堀 雅子氏が講演された。言語聴覚士は、言葉によるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援をする仕事と説明し、日々の仕事の内容や、摂食嚥下障害、構音障害についてのリハビリテーションが話された。受講者にリハビリテーションの体操や唾飲み込みが何回できるかを実際に試してもらい、自分の状態を確認してもらっていた。咀嚼筋のトレーニング法をネットで調べて実際にやってみようという受講者もみられた。



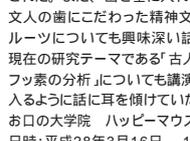
2講目は、歯からわかる縄文人の食と文化を講演テーマにした、伊達市噴火湾文化研究所の学芸員青野友哉氏が講演された。噴火湾沿岸で多くの縄文人骨が見つかり、その歯から当時の暮らしがうかがえる。社会までも知る手掛かりとなることを話された。また、歯を墓に入れたり儀礼に用いたり縄文人の歯にこだわった精神文化、日本列島のルーツについても興味深い話であった。青野氏の現在の研究テーマである「古人骨の歯に残る火山性フッ素の分析」についても講演され、受講者は食の入れかたに耳を傾けていた。(森勝彦記)



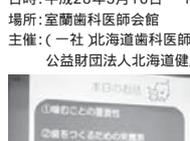
お口の大学院 ハッピーマウス健口講座 第4週目  
日時:平成28年3月16日 13:30~  
場所:室蘭歯科医師会館  
主催:(一社)北海道歯科医師会、公益財団法人北海道健康づくり財団



ハッピーマウス健口講座 第4週目、1講目は、生きること、口と体の健康と題して、日鋼記念病院栄養士の西條美郷氏が講演された。噛むことの重要性、歯に必要な栄養素、またその上手な摂取法、調理法。歯と生活習慣病。バランスの良い食事を心掛けようという話された。質問タイム



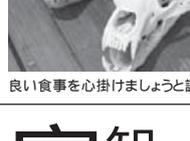
2講目は、歯からわかる縄文人の食と文化を講演テーマにした、伊達市噴火湾文化研究所の学芸員青野友哉氏が講演された。噴火湾沿岸で多くの縄文人骨が見つかり、その歯から当時の暮らしがうかがえる。社会までも知る手掛かりとなることを話された。また、歯を墓に入れたり儀礼に用いたり縄文人の歯にこだわった精神文化、日本列島のルーツについても興味深い話であった。青野氏の現在の研究テーマである「古人骨の歯に残る火山性フッ素の分析」についても講演され、受講者は食の入れかたに耳を傾けていた。(森勝彦記)



お口の大学院 ハッピーマウス健口講座 第5週目  
日時:平成28年3月23日 13:30~  
場所:室蘭歯科医師会館  
主催:(一社)北海道歯科医師会、公益財団法人北海道健康づくり財団



ハッピーマウス健口講座 第5週目、1講目は、生きること、口と体の健康と題して、日鋼記念病院栄養士の西條美郷氏が講演された。噛むことの重要性、歯に必要な栄養素、またその上手な摂取法、調理法。歯と生活習慣病。バランスの良い食事を心掛けようという話された。質問タイム



お口の大学院 ハッピーマウス健口講座 第6週目  
日時:平成28年3月30日 13:30~  
場所:室蘭歯科医師会館  
主催:(一社)北海道歯科医師会、公益財団法人北海道健康づくり財団

# 札幌

SAPPORO

平成27年度 救急医療講習会  
日時:平成28年2月6日 15:00~  
場所:札幌会館大講堂



平成28年2月6日 午後3時から、札幌会館大講堂にてコデンタルスタッフ対象の救急医療講習会が開催されました。まず、救急医療委員会の 森 憲 副委員長より救急医療の講義と一次救命処置(BLS)の説明がありました。本講習会は緊急事態に遭遇した場合の対応について特に重要なスタッフの資質向上を図ることを目的として、出席者全員が実習に参加し、講習を受ける内容となっております。本年も医療安全講習会という位置づけに加え、救急医療への関心の高さ、合併症発生時の対応の必要性から、59名が参加されました。

実習はバイタルサインのチェックと点滴セットの組み方、静脈路確保については4グループ、一次救命処置(BLS)は8グループに分かれて行いました。今年もお忙しいなか応援に駆けつけていた



いた外部講師の先生方には、誌面をお借りし改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。(太田教之記)

平成27年度第3回学術講演会  
日時:平成28年2月20日 15:00~  
場所:札幌会館大講堂

第3回学術講演会が平成27年2月20日 午後3時から札幌会館大講堂にて開催され、113名の出席がありました。

演題は「顎関節症の基礎から海外最新情報まで - 診査診断・治療におけるポイント -」とされ、北海道大学大学院歯学研究所国際歯科部門講師の有馬 太郎先生にご講演いただきました。顎関節症の専門医ではない一般開業医が理解すべき内容を、創意工夫を凝らし、見事に時間という制限のなかで、楽しく、わかりやすく伝えていただきました。

現在、顎関節症国際診断基準(DC/TMD)の日本語訳のメンバーとして奮闘中とのことです。ご講演のなかでも、DC/TMDの診断フローチャートの解説がありましたが、年内の日本語版の発表が期待されます。

日本では顎関節症の治療法についてさまざまな情報が氾濫し、何を信ずればよいか分かりにくい現状のなか、今回の有馬先生の講演により顎関節症に対し、頭の中がすっきり整理され、大変充実した講演会でした。(鈴木敏人記)



# 空知

SORACHI

空知歯科医師会第三回学術講演会  
日時:平成28年3月18日 19:00~  
場所:滝川ホテル 三浦華園

演題:「おさえおきたい顎関節症の今」  
～一般開業医として出来ること、すべき事～  
講師:医療法人社団慶祥会  
ウィズ・ユー 歯科  
大田祥一先生  
臨床に遭遇する顎関節症について基礎からご講演いただきました。分類のつとり診断手順をしっかりと踏みながら原因を



平成27年度第2回美唄会臨時総会、北海道歯科医師連盟美唄支部臨時総会、及び平成28年度診療報酬改定に伴う社保講習会  
日時:平成28年3月26日 12:30~15:30  
場所:美唄ホテルエヒロ  
講師:北海道歯科医師会  
常務理事 井谷秀朗先生

3月の雪環む土曜日に上記会議、講習会が行われた。臨時総会は一一般経過報告の後、平成28年度事業計画及び一般会計収支予算書、さらに美唄会定款施行規則の一部変更・追加に関して議長より報告と説明があり、参加会員の一致した承認が得られ円滑に終了した。その後行われた連盟美唄支部臨時総会では名称変更などに伴う美唄歯科医師連

では、塩分摂取量や卵とコレステロール、ヨーグルトの摂取など女性受講者から多くの声を取り上げ健康への関心の高さがうかがわれた。

2講目、ヒグマで肉食? - 歯から見るヒグマの食性 - というテーマで、のべはくマ牧场学芸員坂元秀行氏が講演された。肉食と思われがちヒグマも7割がたは、植物性の物を食べていること、季節で食べ物が変化していることや冬眠中に産卵すること、飼育されたクマと野生のクマでは食性が多少違っていることなどわかりやすく話された。坂元氏が、実際に持参していただいたクマの頭蓋骨を見ることができた。受講者は講演後に近くまで行き、クマの頭蓋骨をじっくりと観察していた。(森勝彦記)

パレルレススキークラブ1泊2日スキーツアー  
日時:平成28年3月5日、6日  
場所:ニセコグランドホテル泊  
ニセコアンヌプリスキー場  
室蘭会のスキー同好会であるパレルレススキークラブの、1泊2ツアーが行われた。

今回はバスツアーと違い、現地集合なので、土曜の診療を早めに切り上げ、6時の宴会の前に、ニセコのスキーを楽しむ予定でしたが、診療が残念ながら終わらず、夕方の出発になってしまいました。ニセコに向かう途中、発見してきた羊蹄山が夕陽に染まって西色に見えて美しく、ニセコ連山も素晴らしい眺めでした。宿泊先の毎年の世話になっている、若返りの湯と混浴露天風呂が人気のニセコグランドホテルには宴会前ギリギリの到着でした。

パレルレススキークラブ会長の由川先生の挨拶および乾杯で会は始まりました。今日の最高のニセコのパウダースノーを朝から楽しんで先生もいらしたので、その感想を話題に、今シーズンのスキーの話で盛り上がりました。その後、部屋にもどり、2次会で夜遅くまで盛り上がりました。次の日は天気予報どおり、朝から雨で、3月初めのニセコとは思えない天気での早めの解散となりました。

今シーズンは室蘭スキー連盟指導員の大長一正先生には大変お世話になりました。また、幹事の穴戸先生、黒田先生、大変お疲れ様でした。また、来シーズンも宜しくお願い致します。(三國一郎記)



精査し一般開業医での治療のゴールの設定方法を学んだ。(多比良昭寛記)

平成28年度診療報酬改正に伴う伝達講習会  
日時:平成28年3月25日 19:00~  
場所:滝川ホテル 三浦華園  
講師:北海道歯科医師会

理事 近藤 啓一先生  
旭川で行われた集団指導である、診療報酬改定説明会を聴講し終了後に行われた今回の伝達講習会も、内容をより詳しく理解することに大変役立った。大幅な改正になる今回の改定に歩調を合わせるため沢山の会員が参加し熱心に耳を傾けていた。(多比良昭寛記)



監規則(案)について支部長より説明があった。引き続き社保講習会が行われた。今回の改定では「かかりつけ歯科医機能」「チーム医療・医科歯科連携の推進」に在宅歯科医療の推進、等の充実が図られており、それに対応して新しい施設基準の設置や従来の施設基準が見直された。それらの詳細(加診診など)の説明から、新たに保険導入された技術項目(レジ前装金冠冠の適応範囲の拡大やファイバーポストなど)や、特定保健医療材料の見直しなどについて丁寧な解説があった。

我々は今後出される疑義解釈等もしっかり理解して適正な保険請求に努めたい。井谷先生にはお忙しいなか会員からの多数の質問にも制限時間ギリギリまでご回答いただき誠にありがとうございました。(滑川貞彦記)